

令和3年度 明石市地域公共交通会議（第3回）議事概要

- | | | |
|---|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 日時 | 令和4年1月31日（月）14時00分～15時45分 |
| 2 | 会場 | 明石市役所 議会棟2F 大会議室 |
| 3 | 出席者 | 委員13名（欠席0名・代理1名）
オブザーバー1名
随行者4名（うち、途中退室1名）
傍聴者1名（うち、途中退室1名） |
| 4 | その他 | — |

協議事項等

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 協議事項

（1）山陽バス・二見線 運賃設定、割引制度等について/2022年4月ダイヤ改正について…【資料1・別紙】

山陽バス(株)より、二見線において適用される運賃設定や各種割引制度等について、また、2022年4月に予定するダイヤ改正案について説明があり、その内容について協議に諮った。

<主な意見・質問>

Q. 3点質問がある。①平日の昼間便や休日の運行便など一部減便予定とのことだが、減便により困る利用者は多くないのか。②収支赤字が生じているとのことだが、同路線は明石市域と播磨町域を跨いで運行路線であるため、国の地域間幹線系統補助金の申請も選択肢として考えられる。同補助の申請を行っていない理由（例えば、輸送密度等の運行実績が補助要件を満たさない等）はあるのか。③二見人工島内には県の水産技術センターがあるが、同施設にもダイヤ改正内容について周知はされているか。

A. ①二見線の利用については大きく2パターンあると把握している。ひとつはJR土山駅～山陽西二見駅の駅間移動での利用、もうひとつは各駅～二見人工島間の利用である。前者については、たこバスの二見ルートを代用いただくことが可能である。後者について、人工島内までのバス利用は基本的に平日朝夕の通勤・帰宅時間帯が主であるため、このたび減便を予定する便の利用者は資料にも記載のとおり非常に少ない状況である。②一度確認する*。③水産技術センターには、昨夏のアンケート調査にもご協力をいただいたところである。今回のダイヤ改正内容についても改めてご案内することとする。

（※）山陽バスより後日回答：「地域間幹線系統確保維持費国庫補助金について、補助要件等を確認したうえで活用を検討する。」

⇒内容について、異議なく承認

（2）神姫バス・明石駅～藤江駅線 令和4年4月1日路線再編についての協議…【資料2】

神姫バス(株)より、明石駅～藤江駅線の利用状況等について説明があり、令和4年4月1日に予定するダイヤ改正案について協議に諮った。

<主な意見・質問>

特になし。

⇒内容について、異議なく承認

4. 報告事項

(1) 山陽バス 二見線での各種取組みについて … 【資料3・別紙】

山陽バス(株)より、二見線の利用・収支状況や利用促進に係る取組み実績等について報告された。

<主な意見・質問>

特になし。

(2) 神姫バス・大久保駅～山手台線 令和4年4月1日路線再編についての報告 … 【資料4】

神姫バス(株)より、大久保駅～山手台線の利用状況等について説明があり、令和4年4月1日に予定するダイヤ改正案について報告された。

<主な意見・質問>

特になし。

(3) 明石市コミュニティバス(たこバス)の運行について … 【資料5】

事務局より、たこバス運行事業の経緯や利用状況等について報告を行った。

<主な意見・質問>

Q. たこバスの運行ルートは基本的に片方向であるが、例えば1時間おきに逆方向の運行としてはどうか。今まで利用していなかった層の利用が増えることも期待できるのでは。

A. たこバスは、路線バスが運行していない地域と最寄りの鉄道駅を循環路線で結び面的にカバーすることを主目的としている。利用動向を見ても、地域内での移動と比較し、鉄道駅を目的地とする利用が多い。また、ご意見のように1時間おきに逆方向の運行とすると、今まで利用していなかった方の利用は増える可能性はあるが、その反面、片方向あたりは2時間につき1本となったり、回り方によって運行時分が変わったりと、既存の利用者にとっては分かりやすさや利便性が低下する一面もある。双方向の運行に関するご意見を含め、たこバスについては日頃から様々なご意見を頂戴している。今後も地元からのニーズを取り入れながら、事業を検討していきたい。

(4) あかし「バスに乗ろう！」プロジェクトの取組みについて … 【資料6】

事務局より、あかし「バスに乗ろう！」プロジェクトの令和3年度の取組み内容(予定含む)や明石市における近年のバス利用動向等について報告を行った。

<主な意見・質問>

Q. バスお試し無料乗車券の取組みにおいて、無料乗車券で支払いがなされた乗客分については、明石市から各バス事業者へ運賃分が補填されるのか。もしくは各事業者

の負担なのか。

A. 本プロジェクトは、神姫バス・山陽バス・明石市の3者からの負担金支出を以て事業費とし、各施策を展開している。無料乗車券の取組みについては、各バス事業者から乗車券の着札枚数の報告を受け、プロジェクト事業費の中から精算を行っている。

(5) 明石市総合交通計画の進捗状況について … 【資料7】

事務局より、明石市総合交通計画の策定目的や概要、目標の進捗状況等について報告を行った。

<主な意見・質問>

特になし。

5. 閉会

以上